

ふれあい

No.
36

特集

●総務省オンライン連携診療事業の実証
くD to D、N to Nの事例く
●よくわかるレスパイト入院
●ソフロロジー出産を取り入れています

CONTENTS

- P2 総務省オンライン連携診療事業の実証
P5 よくわかるレスパイト入院
P6 ソフロロジー出産を取り入れています
P7 熊本県国保地域医療学会にて最優秀賞を受賞しました
八代高校とのオンライン授業を実施しました
P8 「よかボス企業」に認定されました
人工知能（CNN）を用いた肺がんCT検診をはじめました
P9 地域医療貢献奨励賞を受賞しました
くまもとメディカルネットワーク包括同意のご理解とご協力
のお願い
P10 診療日程

病院理念

国保水俣市立総合医療センターは、地域住民の皆様に「信頼され、期待され、選ばれる」病院となるために、以下のことに専念します。

- 患者中心の医療
- 安全で高度な医療
- 地域との連携
- 環境保全
- 健全経営

国保水俣市立総合医療センター
〒867-0041 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号
TEL 0966-63-2101 FAX 0966-63-1393
ホームページ <https://minamata-hp.jp/>
QRコードからアクセスできます



総務省過疎地域持続的発展支援事業

当院はくまもとメディカルネットワーク（以下、「KMN」と表記）を活用したオンライン診療の実証事業に取り組んでいます。本事業は総務省が実施する「令和3年度過疎地域持続的発展支援事業」の交付金を受けて実施しています。当院が中心となり、ICT技術を活用してオンライン診療及び看護支援等を、介護施設や地域の医療機関等に向けて実施するものです。本事業は水俣市、AMI株式会社（遠隔医療ラボ：水俣市浜松町）と当院が三者協定を締結して実施しています。今回の特集ではDtoD（Doctor to Doctor）、NtoN（Nurse to Nurse）の実証についてご紹介します。



住み慣れた環境から受診できる

初めにご紹介する事例は、水俣市内のニチイケアセンターに入所している患者さんです。事前にKMN（くまもとメディカルネットワーク）にてバイタルデータが共有され、遠隔聴診対応ビデオチャットシステムを活用して受診される患者さんの容体をリアルタイムで確認することができました。受診された患者さんは慣れていないためやや恥ずかしそうでしたが、普段過ごしている施設から受診できたことで、終始リラックスした様子で受診されていました。今回のオンライン診療に携わった当院の長井統括外科部長にお話を伺いました。

Q. オンライン診療の意義とはどのような点だと思いますか。

患者さんの経過観察が予定通りできるということは大きいと感じています。ご高齢の方や足元がおぼつかない患者さんにとっては、定期的に受診することが難しいと感じて徐々に受診しなくなるというケースが時々あります。一方オンライン診療となると、患者さんが住んでいる場所で定期的な受診が可能ですので、この点は大きなメリットです。

Q. オンライン診療の手ごたえはどのように感じましたか。

前述のようなご高齢の方や介助が必要な方にとって利用する意義はあると思います。本人や介助者の移動負担が大きく減るなどの効果が期待できます。なにより診察までの待ち時間を削減できることは大きなメリットです。

Q. オンライン診療の課題はどのようなところだと思いますか。

オンライン診療は始まったばかりということもあり、世間の認識や受け入れが広がっていないところです。これまで附属久木野診療所で進めてきた実証事業でオンライン診療を実施した患者さんも最初は「対面でなくて大丈夫なの？」と懐疑的な反応でした。ですが実施者からアンケートを取ると好評で、次回もオンライン診療を希望する患者さんが70%弱でした。初診の患者さんに対してのオンライン診療は難しいと思います。これまでのオンライン診療はすべて定期受診され、信頼関係を築いている患者さんでした。初めての患者さんにはDtoDwithP(Doctor to Doctor with Patient: 担当医が患者に付き添い、診察医と評価すること) というように、かかりつけ医同席のもとでオンライン診療を始めると受け入れやすくなるかもしれません。

また熊本大学医学部からの病院実習生も同席していたため、今回のオンライン診療について感想を伺いました。

初めてオンライン診療の現場を見学しましたが、オンライン診療が今後拡大することで患者さんの負担が小さくなると感じました。総合病院など大きい病院となるとどうしても待ち時間が長くなり、特にご高齢の患者さんにとっては負担が大きくなります。その点、オンライン診療だと自宅で待つことができるため患者さんの負担はかなり軽減できるのではないのでしょうか。



今回の見学でユニークだと感じたのは、スタッフが介護施設へ準備に行っていたことです。ご高齢の患者さんやセッティングに慣れていない介護職員などにとってオンライン診療は敷居が高いと感じるかもしれませんが、一度セッティングを済ませることで導入の不安がなくなるのではないかと思います。」

(熊本大学医学部5年生 宮谷 碧)

受診時の時間拘束を解消できる

2つ目は水俣市石坂川にある介護施設ビハーラまどか様にて実施された実証です。

ビハーラまどか様に入所されている患者さんは当院を受診する際に施設職員の付き添いが必要となり、また待ち時間を考慮すると患者さんや施設職員の時間が大きく制限されている現状があります。そこで今回は、ビハーラまどか様に入所されている患者さん2名を対象にオンライン診療を実施し、時間的拘束を解消できないか実証しました。

今回のオンライン診療は、深水医院長の深水良先生が遠隔聴診対応ビデオチャットシステムと連携した電子聴診器を使用し、当院長井統括外科部長と一緒に評価するという体制で行いました。

深水先生は今回初めてオンライン診療を体験されたとのことでしたので、今回の実証についてご感想をいただきました。



Q. 今回のオンライン診療はどう思われましたか。

非常に素晴らしいと思います。施設のスタッフが医療機関まで介助しなくていいのは大きなメリットです。今回使用した聴診器の具合もよく、清明に心音が聞こえたので、オンライン診療だからと言って対面診療から劣るものではありません。

Q. オンライン診療の可能性はどのような点にあるでしょうか。

遠隔地や過疎地域など、移送が難しい地域にお住いの患者さんに医療を提供できるということです。立地条件からアクセスが難しい患者さんも診療を受けることができますし、込み合った待合室内で待ち時間を心配する必要もありません。また介助者や車椅子といった点についても心配がなくなります。

今回ご同席いただきました萩嶺淨円（はぎみね・じょうえん）理事長からもお話をいただきました。

Q. 今回オンライン診療を見学されていかがでしたか。

オンライン診療が実現することで、山間地域等アクセスの難しい施設から医療センターの先生に直接診察してもらえることから、朝早くから病院に行き待つということが解消され、利用者さんや職員の負担が軽減するなどメリットが大きいと思います。是非継続して取り組んでいただけますようお願いいたします。



専門知識に裏付けられたアドバイスが期待できる

3つ目は美里在宅支援事業所と連携した NtoN の事例です。この事例は事業所スタッフから、当院で化学療法を実施されている患者さんのケアについてご相談いただき、緩和ケア認定看護師である佐々木副看護師長が対応したことから実証を行いました。前2例とは異なり患者さんを診察するだけの目的ではありませんでしたが、結果として診療とはまた違った有用性を確かめることとなりました。

今回初めての NtoN 事例でしたので、対応した佐々木副看護師長から感想をいただきました。

Q. 今回の実証はいかがでしたか。

実は今回実証する以前にもオンラインで患者さんの容態を伺う機会がありました。患者さんご本人が難聴であるためこちら側の声が聞き取りづらそうだったと事務所スタッフの方から情報をいただき、今回は聴覚支援オーディオシステムを導入しました。その結果、前回と比べてこちら側のお話に反応してくださり、患者さん

の表情や言葉から体調や痛みの評価ができるようになりました。

Q. オンライン端末を利用したコミュニケーションはどのような感想ですか。

施設の看護師さんとのコミュニケーションに問題はありませんでした。看看連携に関した相談については、このような方法でご相談いただいてもいいかもしれません。患者さんは一診療施設でケアするのではなく、地域一体でケアしていくという繋がりも保てます。訪問診療でカバーできない特化した治療についても、当院の専門外来にご相談していただくことも可能です。



Q. 実際に訪問するよりもオンライン対応の方が便利ですか。

外来対応など通常業務の都合上、直接訪問して患者さんの容態を確認することは難しいのが現状です。このような現状を考えると、移動時間を考慮する必要のないオンライン対応は有効だと感じています。また、日に日に体力が衰えてくる患者さんにとって、診察の度に来院する必要がなくなるのは一番のメリットかもしれません。

地域全体で患者さんをフォローするために

介護施設を対象にした今回のオンライン診療実証ですが、ご紹介した3例では患者さんと介助者への双方へメリットがありました。患者さんにとっては、普段の生活に近い環境でリラックスして受診できること、診察までの待ち時間でつらい思いをしなくていい、体力面で不安な通院も必要なくなる、といったメリットが確認できました。また介助者や施設スタッフにとって、付き添いなどの負担を軽減できる、長時間の診察待ちによる時間的拘束を解消できる、認定看護師など専門に特化したスタッフから距離的制約に関わらずアドバイスを受けられる、といったメリットもありました。

オンライン診療前に採血結果や患部の写真を共有していたことで、スムーズに診察を進めることができます。オンライン診療だと待合室で長時間待つ必要もないことから、今後は「医療機関では検査のみ、診察はオンラインで」といった対応も可能になるかもしれません。

オンライン診療を活用することで、いままで施設や医療機関内で抱えていた問題を地域一体となってフォローできるような環境が構築できるかもしれません。当院では引き続き、地域医療へ貢献するために様々な取り組みを実施していきます。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



～お知らせ～

今回紹介した事業について、テレビ熊本から取材を受けました。取材時の予定では、夕方のニュース「TKU ライブニュースイット」でご紹介いただく予定です。

放映日等の詳細がわかり次第、当院 Web ページにてお知らせします。



特集 よくわかるレスパイト入院

当院西4病棟（地域包括ケア病棟）では在宅療養をされている患者さんのご家族を支援するために、レスパイト入院「在宅医療を支えるための入院」の受け入れを行っています。

次のような医療管理などを必要とするため、介護保険によるショートステイ利用が困難で、かかりつけ医からの要請がある患者さんが対象です。

- ・がんの疼痛管理（当院で経過観察している方）
- ・夜間も吸引が必要
- ・点滴、胃瘻、経鼻での栄養が必要
- ・気管切開後
- ・その他（褥瘡処置、在宅酸素など）
- ・台風や大雨などの災害が予想され、事前避難を希望（医療管理が必要な方）

レスパイト入院って聞いたことはあるけど、結局どうやって利用すればいいかわかんないのよね。
具体的にどんなケースで利用できるのかな。



たとえば、

- ・在宅で介護しているけど遠出する用事ができた
 - ・施設にショートステイの申し込みをしたけど、しばらく待たないといけない
 - ・「正直、在宅介護の毎日で疲れている」とご家族から相談されている
こんな時には一度相談していいかもしれないね。
- もちろん、患者さんご本人やご家族の同意があつてのことだけだね。



レスパイト入院は患者さんから直接申込はできないの。患者さんのかかりつけ医や、普段から利用しているケアマネジャーさんが医療センターの地域医療支援室に申し込むようになっているよ。



なるほどね。

14日以内の入院期間とか、通算60日入院後は3ヶ月間利用できないみたいにもいろいろルールもあるみたいね。

入院中の診察や検査はできないみたいだけど、何かあったら対応してもらえるようだし、安心できるかも。医療センターのホームページにも説明があるからよく読んでみようかな。



水俣市立総合医療センター レスパイト入院



レスパイト入院の申し込みは原則として平日に限ります。レスパイト入院に関するご相談・お申し込みは当院地域医療支援室までお願いします。

特集 ソフロロジー出産を取りいれています

ソフロロジー出産を取りいれています

初めて出産を迎えるのであればもちろんのこと、経産婦さんでさえ過去の出産経験から不安を抱えていることは少なくありません。ところがソフロロジー出産を選んだ妊婦さんは、出産に対する不安どころか、出産間近になれば陣痛を待ち望むような心持ちになっています。

無痛分娩は、麻酔などを使って出産の痛みを感じなくさせる「麻酔分娩」ですが、ソフロロジーは、麻酔などのクサリに頼らない無痛の自然分娩と言われています。また、ソフロロジーは自然分娩とあえて呼ばず、自分がお産のすべてをコントロールする「自律分娩」と呼んでいます。陣痛は「赤ちゃんが産まれてくるためのエネルギー」であり、「うれしい痛み」ととらえ、ママと赤ちゃんが一緒になって自分のペースで出産できるお産であることから、麻酔なしでも過度なストレスを感じることなく、出産を乗り越えられる出産法というわけです。ママのストレスが少なくリラックスしている状態は、赤ちゃんに酸素が届きやすく、産道もやわらかくなって赤ちゃんがスムーズに出てくることができるのです。

ソフロロジー出産では、赤ちゃんとベストな対面を果たす、妊娠中にママが積極的に出産に臨める心と体をつくることを目指します。そのために実践することとして「イメージトレーニング」「呼吸法」「エクササイズ」があります。呼吸法としてはヨガの腹式呼吸をイメージしてみてください。

これらは母親学級でお話している一部です。続きを知りたい方はぜひ当センターの母親学級にご参加ください。ご家族も一緒に、幸せな気持ちで赤ちゃんを迎えましょう。



胎内記憶をご存じですか

胎内記憶とは子どもがお母さんのお腹の中にいたときの記憶のことを指します。科学的な根拠は未だ解明されていない神秘的なものですが、3人に1人の割合で胎内記憶が残っているという研究データもあります。

☆おなかの中にいたときのことは覚えている？

「おなかの中にいたときね、木とか、ビルとか、電気とかが見えたよ。雲とかオレンジ色で、夕焼けみたいだった。道路もオレンジ色だった」

（二歳、男の子。妊娠中、お母さんはよく夕日を浴びながら海沿いの公園を散歩していた）

☆おなかの中はどんなところだった？

「暗くて、狭くて、あったかかった。ときどきもっとあたたかくなったとき、ぐるぐる動いたよ」（三歳、女の子）

☆おなかの中で何してたの？

「暗かった。歌ったり、音楽を聞いたり、水を飲んでた。ふわふわしていたけど、せまかった。泳いでいた。そろそろ外に出ようと思って、出てきた」（三歳、女の子）

＊池川 明 著書「おなかの赤ちゃんと話せる本」より抜粋

当センターで出産したお母さんからの経験談ですが、上のお子さんが

「ママから出てくる時、真っ暗の中からオレンジの光が見えてママの声が聞こえてきたよ」

と話してくれたことがあるようです。

是非、どんな感じだったのか聞いてみてください。楽しみですね。

西3病棟主任 浮池 美希

TOPICS



熊本県国保地域医療学会にて最優秀賞を受賞しました

令和3年10月23日（土）に開催されました第25回熊本県国保地域医療学会に当院から3名が研究発表し、山澤順一情報企画室次長が最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞を受賞した山澤室次長より喜びの声をいただいています。

この度は、医療センターでの新しい取り組みが評価され、また、研究発表最優秀者に選出されたことを大変光栄に思っています。この賞は決して私だけの力ではなく、この取り組みについてご指導いただいた坂本管理者、阿部院長をはじめオンライン診療にご協力いただいた先生方と、日々実証に取り組んだプロジェクトメンバー皆様の努力の成果であると思っています。この地域医療を守り続けるという先生方の強い意志をICTというツールを使って実現できるよう、また同じ課題を抱える全国の過疎地域のモデルとなるよう引き続き取り組んでまいりたいと考えております。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

山澤室次長は最優秀者として、令和4年に開催予定の第62回全国国保地域医療学会にて研究発表を行う予定です。
発表者と演題（職種）

- ・山澤順一「水俣市久木野地区委における『くまもとメディカルネットワーク』と遠隔医療対応電子聴診器を併用したオンライン診療の取り組み（診療放射線技師）」
- ・森好美「起立性調整障害患児の症状を軽減させるための試み」（看護師）
- ・波留大樹「尿道カテーテル留置による術後の苦痛緩和への取り組み」（看護師）



八代高校とのオンライン授業を実施しました

八代高校の生徒に向けたオンライン授業を実施しました。坂本管理者はじめ藤澤診療部長、田中西3病棟師長、山澤情報企画室次長が講師として出席しました。「地域医療・健康増進プロジェクト」班の34名に向けて医療の現状や課題について講演されました。参加した生徒たちの中には医療系に進学を志望する生徒や、医師を目指している生徒もいることから、今回のオンライン授業を通して自分たちの将来像を具体的にイメージすることができたようです。

今回のオンライン授業は、地域医療の課題に取り組む後継者育成のきっかけになっていくことでしょう。



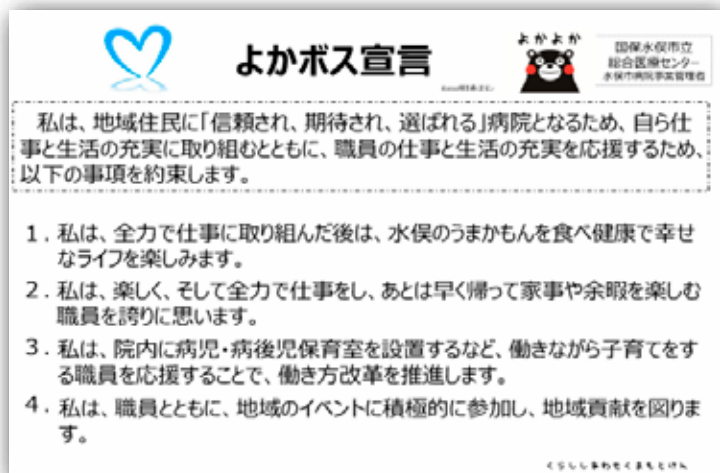


「よかボス企業」に登録されました

当センターは「働き方改革」への取り組みを進めるため「よかボス宣言」を行い、「よかボス企業」に登録されました。この取り組みは熊本県が実施している事業の一つで、企業等のトップが職員の仕事と結婚や子育て、介護などの充実した生活ができるように応援することを宣言するものです。

これからも安定した病院経営とこの地域の人々の安心した暮らしを守るために、最も必要なことは職員がいきいきとした姿で働き、心身ともに健康で元気であることです。今回の宣言には、このような思いが込められています。

今後もこの宣言に沿って、男女共に働きやすい職場づくりに努めてまいります。



人工知能 (CNN) を用いた肺がん CT 検診をはじめました

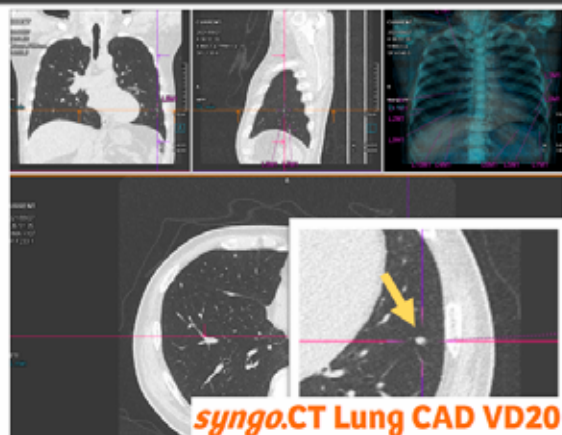
健康診断において、最新の人工知能(CNN:Convolutional Neural Networks)を用いた肺がんCT検診を開始いたしました。肺がん CT 検診の目的である「肺結節」を検出できるよう開発された【syngo.CT Lung CAD VD20】コンピュータ支援検出 (CAD) ソフトです。

CT 検査における精度向上となり、市民の皆さまの健康増進と肺がん検診の早期発見に取り組んでまいります。

“最新の人工知能 (CNN : Convolutional Neural Networks) を用いた肺がんCT検診をはじめました”

KeyPoint

1. 肺がんCT検査の結果を放射線科読影医が所見レポートを作成する際に、**充実性肺結節、部分的に固い結節、およびすりガラス状結節**を容易に検出できるよう開発されたコンピュータ支援検出 (CAD) ソフト。
2. 一次読影で見落とされている可能性のある関心領域 (ROI) について、放射線科読影医に注意を喚起する**補助的なツール**として機能。



肺がんCT検査の検査精度の向上



地域医療貢献奨励賞を受賞しました

一般社団法人住友生命福祉文化財団において、医療に恵まれないへき地等における医療確保向上及び地域住民の福祉増進を図らうため、地域医療に多大な貢献をされている医師を顕彰する「地域医療貢献奨励賞」を坂本管理者が受賞しました。

この賞は全国各府県から推薦いただいた候補者から、6名の方が受賞しており、授賞式は令和4年3月5日（土）に東京都の都市センターホテルにて開催されます。



くまもとメディカルネットワーク利用の包括同意のご理解とご協力をお願い

当院は、「個人情報の保護に関する法律」及び同法に基づく「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」に基づき、「くまもとメディカルネットワーク」での患者の皆様方の個人情報に関する包括同意の取扱いについて、以下のとおりといたしますので、ご同意願います。

※くまもとメディカルネットワーク＝KMN＝熊本県地域医療等連携ネットワーク

①医療の提供に必要な利用目的とは

当院では「くまもとメディカルネットワーク」を利用し、患者の皆さまのプライバシー保護を厳重に図りながら診療情報の一部を参加施設間を結ぶ閉鎖的なネットワークで共有し、診療・検査などから得られた多くのデータを元に治療法や予防対策を検討し、わかりやすく説明を行うことや当院より回復期（リハビリ）医療機関等へ転院した場合の診療情報の照会など、質の高い安全な診療及び高度で先進的な医療の提供を可能にすることを目的としています。

②医療の提供に必要な連携医療機関への情報提供・照会

「くまもとメディカルネットワーク」を利用し、参加医療機関との円滑な医療連携のために情報を共有する必要がある場合の参加登録について、包括同意とさせていただきます。

◎紹介元、紹介先医療機関との連携において、診療情報、検査結果、画像データの提供、照会が必要なとき

◎意識不明で身元不明の場合について、関係機関への照会や、家族又は関係者等からの安否確認に対して必要な情報提供を行う必要性があるとき

◎意識不明の場合の病状や重度の認知症の高齢者の状況を家族等に説明する必要性があるとき

◎大規模災害等で医療機関に非常に多数の傷病者が一時に搬送され、家族等からの問い合わせに迅速に対応するためには、本人の同意を得るための作業を行うことが著しく不合理である場合

③「くまもとメディカルネットワーク」利用に関する包括同意について

患者の皆さまに安全で質の高い医療及び高度で先進的な医療を提供する上で、外部の医師等の意見・助言が必要な場合には情報を提供させていただきます。同意にご了承いただけない場合は総合受付窓口までお申し出ください。お申し出のない場合は、当院の掲げる利用目的について患者の皆さまから同意が得られたものといたします。

上記に掲げる利用目的についての同意及び留保は、患者の皆さまへのよりよい医療等を提供する上で、支障のない合理的な範囲で、お申し出によりいつでも変更することが可能です。

国保水俣市立総合医療センター外来診療のご案内

令和4年1月現在

午前診察 8:30 — 12:00 (受付 8:00 — 11:00)
午後診察 14:00 — 17:00 (受付 13:30 — 15:00)

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	診察	田代 康正 玉野井 大介	田代 康正 榮田 浩文	榮田 浩文 非常勤医師	玉野井 大介 榮田 浩文	田代 康正 玉野井 大介
	午後	検査	気管支内視鏡	—	気管支内視鏡	—	—
脳神経外科	午前	診察	田尻 征治 担当医	手術	徳田 高穂 担当医	田尻 征治 徳田 高穂 脳ドック (担当医)	もの忘れ水頭症外来 田尻征治・徳田高穂 担当医
	午後	診察	井 建一郎	植田 明彦 (10:00～14:00) (完全予約制)	池田 知聡	井 建一郎	池田 知聡
MEG センター	午前	特殊検査 (脳磁計)	(予約) 中村 政明				
消化器内科	午前	診察	成田・園田	森田・家城	堀尾・東	森田・堀尾・坂本	成田・家城
		消化管透視検査	—	—	—	阿部 道雄	—
		消化管内視鏡検査	堀尾・家城	成田・堀尾	森田・家城	成田・家城・溝部	森田・堀尾・外科担当医
		腹部超音波検査	森田	—	成田	—	—
	午後	検査	成田・森田・堀尾・家城	成田・森田・堀尾・家城	成田・森田・堀尾・家城	成田・森田・堀尾・家城	成田・森田・堀尾・家城
循環器内科	午前	診察	老松 優 廣瀬 豊樹	老松 優 廣瀬 豊樹	丸山 英樹 上村 智明	丸山 英樹 非常勤医師	上村 智明 廣瀬 豊樹
	午後	診察 (要予約)	—	(ペースメーカー外来) 担当医	丸山 英樹	丸山 英樹	廣瀬 豊樹
糖尿病・内分泌センター 代謝内科	午前	診察	佐田 公範 藤澤 和夫 吉田 知史	佐田 公範 藤澤 和夫 古庄 (第2・4週) 吉田 (第1・3・5週)	古庄 正嗣 藤澤 和夫 吉田 知史	佐田 公範 藤澤 和夫 古庄 正嗣	佐田 公範 (第2週) 吉田 知史 古庄 正嗣
			佐田 公範 藤澤 和夫 吉田 知史	佐田 公範 藤澤 和夫 古庄 (第2・4週) 吉田 (第1・3・5週)	吉田 知史 藤澤 和夫 —	佐田 公範 藤澤 和夫 —	佐田 公範 (第2週) 吉田 知史 古庄 正嗣
			佐田 公範 藤澤 和夫 吉田 知史	佐田 公範 藤澤 和夫 古庄 (第2・4週) 吉田 (第1・3・5週)	吉田 知史 藤澤 和夫 —	佐田 公範 藤澤 和夫 —	佐田 公範 (第2週) 吉田 知史 古庄 正嗣
	午後	診察 (予約のみ)	佐田 公範 藤澤 和夫 吉田 知史	佐田 公範 藤澤 和夫 古庄 (第2・4週) 吉田 (第1・3・5週)	吉田 知史 藤澤 和夫 —	佐田 公範 藤澤 和夫 —	佐田 公範 (第2週) 吉田 知史 古庄 正嗣
小児科	午前	診察	樫木 仁 非常勤医師	樫木 仁 三淵 (第2週) 黒澤 (第1・3・4・5週)	黒澤 孝一 非常勤医師	岡本 ユカ 片山 太輔	片山 太輔 樫木 仁
	午後	診察 (予約のみ)	(喘息外来) 担当医	(予防接種) 担当医	(喘息外来) 担当医	(1ヶ月検診) 担当医	神経外来 (第1週) アレルギー外来 (奇数月第2週)
外科	午前	診察	長井 洋平 志垣 博信 北村 文優	坂本不出夫 (9:00～) 志垣 博信 —	坂本 不出夫 阿部 道雄 —	(新患・コンサルタント) 担当医 — —	阿部 道雄 乳腺・内分泌 —
			担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	診察	宮崎 信 沼田 亨祐 棚平 健 満瀬 葉介	石松 恵明 沼田 亨祐 中島 三郎 島田 真樹	石松 恵明 棚平 健 中島 三郎 島田 真樹	宮崎 信 棚平 健 中島 三郎 満瀬 葉介	宮崎 信 沼田 亨祐 石松 恵明 島田 真樹
整形外科	午後	診察	—	—	—	—	—
リハビリテーション科	午前	診察	—	—	馬場 敦子 毎月第1・3水曜日	—	岩永 壮平
皮膚科	午前	診察	谷川 広紀 中原 智史	谷川 広紀 中島 香織	非常勤医師 —	谷川 広紀 中原 智史	中島 香織 中原 智史
	午前	診察	—	—	手術	—	手術
泌尿器科	午前	診察	(新患) 三浦 太郎 (再来) 岩下 仁	三浦 (第1・3・5週) 渡邊 (第2・4週) (再来) 岩下 仁	(新患) 渡邊 祐 (再来) 岩下 仁	— (再来) 三浦 太郎	(新患) 岩下 仁 (再来) 渡邊 祐
			—	—	—	—	—
	午後	診察 特殊検査・手術	(予約) 担当医				
腎臓内科	午前	診察	—	—	—	小野 (第2週) 丸山 (第4週)	—
産婦人科	午前	診察	(新患) 宮村 伸一 (再来・妊婦健診) 松井 幹夫 (人間ドック) 担当医	(新患) 松井 幹夫 (再来・妊婦健診) 宮村 伸一 (人間ドック) 担当医	(新患) 宮村 伸一 (再来・妊婦健診) 松井 幹夫 (人間ドック) 担当医	(新患) 松井 幹夫 (再来・妊婦健診) 宮村 伸一 (人間ドック) 担当医	手術 —
			手術	(妊婦検診) 宮村 伸一	—	(妊婦検診) 宮村 伸一 (妊婦検診) 松井 幹夫	(再来) 宮村 伸一 (再来) 松井 幹夫
	午後	診察	—	—	—	—	—
眼科	午前	診察	上田 祥太郎	上田 祥太郎	上田 祥太郎 非常勤医師	上田 祥太郎	上田 祥太郎
	午後	診察	特殊再来	特殊再来	手術	特殊再来	特殊再来
耳鼻咽喉科	午前	診察	—	非常勤医師	—	—	非常勤医師
	午後	診察	非常勤医師 (13:30～15:00)	—	—	—	—
放射線科	午前	診察	—	—	—	—	—
	午後	診察 (紹介患者のみ)	楠 真一郎・近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠
歯科口腔外科	午前	診察 (初診は午前中のみ)	尾木 秀直 小島 拓	尾木 秀直 小島 拓	尾木 秀直 小島 拓	休診	尾木 秀直 小島 拓
			尾木 秀直	—	尾木 秀直	尾木 秀直	尾木 秀直
	午後	(再診及び入院患者の 初診のみ)	小島 拓	休診	小島 拓	小島 拓	小島 拓